

茨城県国際理解教育推進協議会

会長 川俣 勝慶 様

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 小美玉市立玉里東小学校

担当教諭名 本田 美貴

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

実施日時	平成 24年 1月 25日 (水)	9:00 ~ 13:00				
対象学年と人数	1年生 (11名)	2年生 (12名)	3年生 (13名)	4年生 (10名)	5年生 (12名)	6年生 (8名)
派遣講師名と出身国	新垣 マリア 先生 (ペルー)					
活動の内容	・ ペルーの紹介(食べ物, 気候, 町や学校の様子) ・ ペルーの衣装 ・ ペルーのダンスや遊び ・ 給食					
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	全学年対象の交流だったので、低・中・高学年に分け、活動をさせてもらいましたが、限られた時間の中でも異文化に触れる良い機会となりました。					
生徒・保護者等参加者の感想	・ ペルーの国には、山地や砂漠、ジャングルの地域があり、それぞれの地域で気候が違うことがわかった。 ・ 食べ物では、ペルーに紫色のトウモロコシがあるのを知って驚いた。 ・ 先生の日本語が上手で、わかりやすかった。 ・ 最初は難しく感じたペルーのダンスも、踊っていくうちに楽しく覚えることができた。 ・ みんなでペルーのゲームをしたことが楽しかった。 ・ ペルーの昔の祭りには、ミイラが使われていたと聞いて驚いた。 ・ ペルーの衣服は、気候によって異なることがわかった。					
先生の感想	ペルーの衣装や、人形、本など、たくさんの準備物をもっていただき、実物に触れることによって、より異文化に対する理解を深めることができました。スライドを使ったペルーの紹介では、日本と違った町並みや学生の様子に、子どもたちの興味は高まりました。食べ物については、実際に乾燥した豆やトウモロコシなども見せていただき、子どもたちから驚嘆の声がもれました。また、実際に体を動かす時間になると、ペルーのダンスや遊びに意欲的に参加し、楽しむ子どもたちの様子も見られました。 マリア先生の日本語もとても上手で、子どもたちは安心して交流することができたようです。 毎年、ワールドキャラバンに参加させていただいていますが、身近な国から遠く離れた国まで、様々な国の方と交流することができ、とても良い機会となっています。ありがとうございました。					

